



安曇野薫風 F 50

安曇野

はるかに遠い夢の中で

汽笛を聴いている

深い谷間から

響いてくるやわらかなホルン

それから ゆっくり線路のきしむ音

—— やがて 引きもとされるように

目覚めかける

ここはどこか いつもの間ではない

そうだ 昨夜木曾谷から

ようやく辿り着いた

いつもの駅前のホテルだ

疲れはまだ少し残っているが

私は今 旅にいる……

あの遮光幕の向うに

安曇野の霞に浮かぶ

北アルプスの山脈がある

そう思うと 胸が熱くなってくる

その想いを じっと抱いている

—— 松本東急インにて

詩画集「信州安曇野」より

略歴 昭和24年東京美術学校(現東京芸大)卒、戦後同期の仲間を中心に群炎美術協会を創立、受賞3回(群炎賞他)現在会長、慈彩会会員 著書：詩画集4部作
個展 埼玉県立近代美術館、銀座アートギャラリー、八木橋アートサロン、岩船画廊、サロンドG、野と花